消防防災ヘリ「はまなす１号」ヘリテレシステム概要

　北海道の消防防災ヘリコプター「はまなす１号」（エアバス・ヘリコプターズ式AS355N3＋）には、災害現場の映像をリアルタイムで伝送するヘリテレシステムを搭載しています。

　搭載カメラは、WESCAM社製「MX-10」。

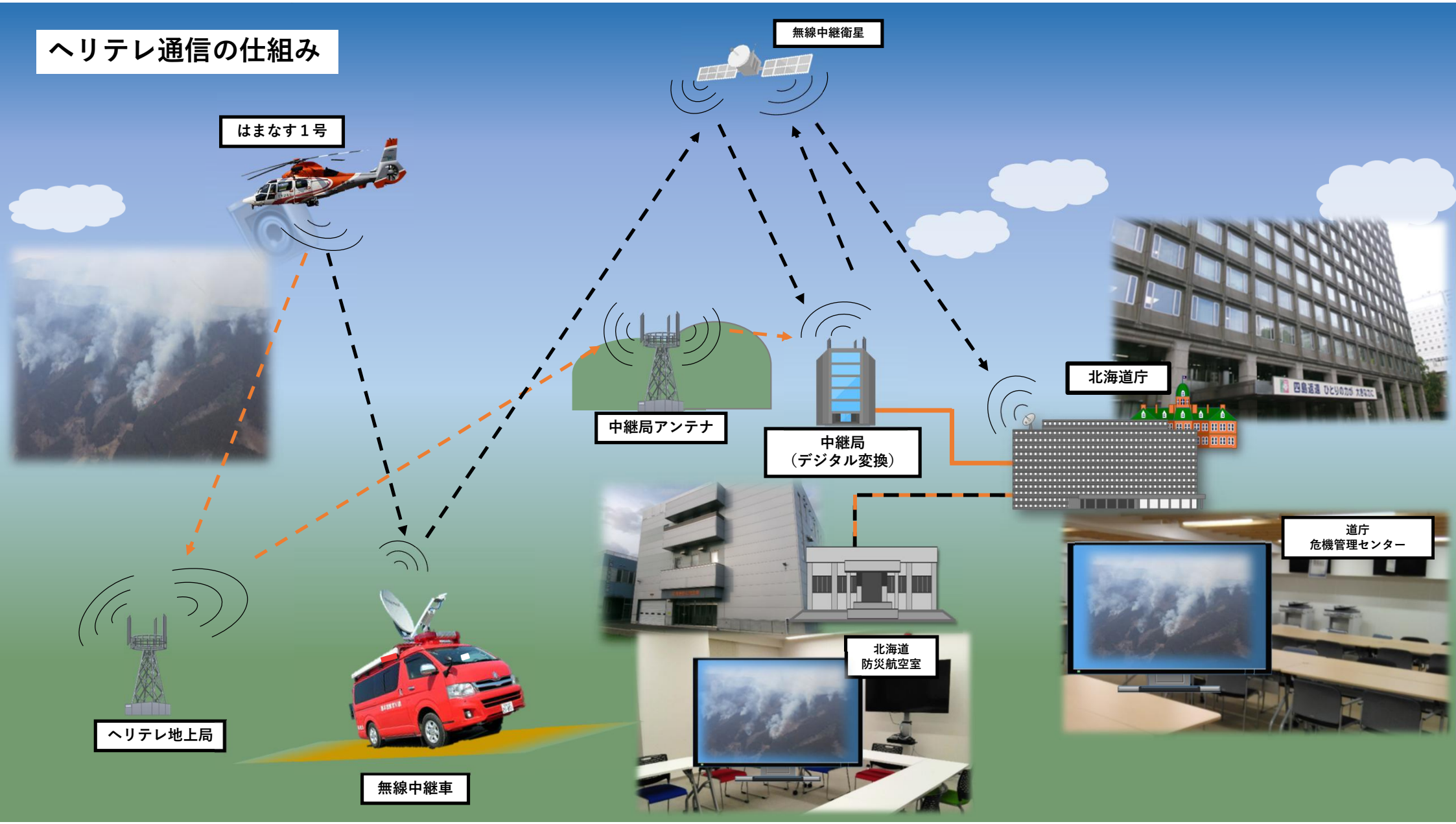
　小型・軽量ながら高倍率ズームや赤外線撮影機能を備え、昼夜を問わず被災状況や活動現場を高精細に記録・送信することが可能です。

　撮影映像は、北海道庁本庁舎内の災害対策本部及び丘珠空港にある北海道防災航空室などへリアルタイム伝送され、現場の状況を即時に共有できます。

　この仕組みにより、現地活動と本部判断の連携が一層強化され、災害対応の迅速化・高度化が期待されます。

　北海道では、今後も防災航空体制の整備・充実を進めてまいります。

ヘリテレ通信の仕組み


無線中継衛星
はまなす１号
中継局アンテナ
中継局
（デジタル変換）
北海道庁
ヘリテレ地上局
無線中継車
北海道
防災航空室
道庁
危機管理センター